

岩手県立釜石商工高等学校 三つの方針（スクール・ポリシー）

1 学校教育目標

人格を尊重し陶冶することにより心身ともに健全な自己実現をめざし、社会の発展、地域の復興に寄与するとともに、社会や地域から期待され、心豊かでたくましい人材を育成する。

2 三つの方針（スクール・ポリシー）

	スクール・ポリシー
グ ラ デ ュ エ ー シ ョ ン ・ ポ リ シ ー	【学校】 ・ 自分を知り、他者を尊重し、地域社会と協働しながら、課題解決能力や社会で生き抜く力を育成する。 (協調性・主体性) ・ 自ら考え判断し計画的に目標を達成できる力を育成する。 (自律・自主性、責任感)。 ・ 思いやりの精神で、より良い人間関係を構築できる力を育成する。 (思いやる心、コミュニケーション能力の育成) ・ 各学科の教育課程のもと、社会人として変化に適応できる人材を育成する。
	【工業科】 ・ 産業の意義や役割を理解させるとともに、健全な勤労観を身につける。 ・ 社会人・職業人として自立できる実践的な知識・技能・態度を育成する。 【商業科】 ・ 産業社会の構造的変化や雇用の多様化等社会の変化について理解する。 ・ 生涯にわたって学ぶことの大切さを実感できる勤労観・職業観を身につけさせるとともに、専門的な知識や技能等を育成する。
	【機械科】 ・ 社会人としての人間力と工業人としての知識、技能、技術を習得する。 ・ 早期進路選択と進路目標を達成する。 【電気電子科】 ・ 基礎・基本を大切にしながら、専門分野に関わる技能と技術を習得する。 ・ 規範意識の高揚を図り、地元地域の復興に寄与できる人間性を育成する。 ・ 進路意識を高揚させ、自己実現に向けての進路希望を達成する。
	【総合情報科】 ・ 基礎・基本の知識と技術を習得する。 ・ 応用的・実践的な指導を通じて、ビジネスを担う職業人としての専門性を高め、即戦力となるような人材を育成する。 ・ 地域の未来を担うに相応しい人間性を持った生徒を育成する。

カリキュラム・ポリシー	【学校】 ・わかりやすい授業展開に努め、教科間で連携し基礎学力を身につけ、各学科の知識・技能を習得するために必要な学習を行う。 ・課題研究を通して、産学官と連携した探究的な取り組みを通じて、課題解決能力を身につける活動を行う。 ・将来の職業人を見据えて工業・商業に関する資格・検定試験に積極的に取り組む。
	【工業科】 ・座学のみならず実習授業を通して知識・技能・技術を身につける。 ・各種資格取得に向けた講義や実技学習に取り組み、進路決定実現を行う。 ・2年次のインターンシップ実施、外部講師を招聘した資格取得の取組を行う。
	【商業科】 ・実践的・体験的な技術を身につける活動を行う。 ・各種検定試験に向けた講義や実技学習に取り組み、進路決定実現を行う。
	【機械科】 ・課題研究の取組（ゴーカートやミニバイクの製作・修理、P V製作（機械科の紹介動画の製作）、P Cゲームの製作、アウトドアギアの製作、実習棟環境整備等）。 ・技能検定（普通旋盤作業、機械保全）、機械製図検定、ガス溶接技能講習の設定。
	【電気電子科】 ・課題研究の取組（電動自転車の製作、ライントレースカーの製作、電線剥き器の製作、テスターを利用したスピードガン製作等）。 ・電気工事士、技能検定（電子機器組立て）、電気施工管理技士補、第二種デジタル通信の設定。 【総合情報科】 ・課題研究の取組（企業とのオリジナル商品の開発・販売、観音仲見世通りの再生、大槌刺し子についての研究、新しい観光プランの発案等）。 ・販売活動（商工マーケット）や商品開発など地域産業や地域社会との連携・交流を通じた実践的教育の実施。

アドミッション・ポリシー	【学校】 ・自ら夢を持ち、何事にも興味を持って取り組める生徒。 ・本校で目標を持って新たなことに挑戦したい生徒。 ・工業・商業の知識・技術を身につけたいという意欲のある生徒。 ・地域の将来のため、地元産業に貢献したいという意思のある生徒。
	【工業科】 ・自ら考え行動し協調性があり、社会に「ものづくり」で貢献したい生徒。 ・目的意識を持って工業の活動に意欲的に取り組める生徒。
	【商業科】 ・自ら考え行動し協調性があり、「ビジネス」を通して社会・地域に貢献したい生徒。 ・目的意識を持って商業の活動に意欲的に取り組める生徒。
	【機械科】 ・機械系のスペシャリストを目指す生徒。 【電気電子科】 ・電気通信系のスペシャリストを目指す生徒。 【総合情報科】 ・商業・情報系のスペシャリストを目指す生徒。

3 連携先（魅力化協働パートナーの分類に○を付ける。複数可。）

	魅力化協働パートナー（団体名・個人名）	地域 * 1	大学 * 2	産業 * 3	その他	学校運営 協議会委 員* 4
1	釜石市総務企画部総合政策課オープン シティ・プロモーション室	○		○		
2	釜石コンパス	○				
3	岩手大学三陸水産研究センター		○			○
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

* 1 地域の行政機関、事業者、地域活性化に取り組む機関・団体及び個人

* 2 大学等、国の機関又は国際機関、国際的な活動に取り組む機関・団体及び個人

* 3 企業、産業技術研究機関、産業振興に取り組む機関・団体及び個人

* 4 学校運営協議会委員に委嘱されている場合に○をつける。

4 特色ある教育課程（探究）

具体的な 内 容	【機械科】 工業（機械）の分野の知識技術を身につけ、課題研究では「ものづくり」を通して、様々なものを制作している。今後、地域などとの連携も視野に活動していく。 【電気電子科】 工業（電気・電子）の分野の知識技術を身につけ、課題研究では中学校への出前授業等、探究型の取組を行っている。 ・一関高専の協力のもと電気自動車の講習会「EVハイスクール」ではメーカーの協力で実施する。 【総合情報科】 商業の分野の知識技術を身につけ、課題研究では探究型の取組を行っている。 ・地元業者との協働による商品開発。販売実習の実施。 ・全国各地からそろえた商品を販売する「商工マーケット」の実施。
-------------	---

5 選択的導入の検討状況

選択的導入については検討を行う。